

2021年 横浜10大ニュースが決定しました

年末恒例、横浜市内で起こった出来事や市政ニュースについて投票いただく「横浜10大ニュース」今年も、6,090人の市民の皆様から投票いただき、次のとおり決定いたしました。

第1位	横浜市長選で山中竹春氏が第33代横浜市長に就任	<3,962票>
	過去最多の8人が立候補した市長選で、山中氏が初当選。投票率は49.05%と衆院選と同日だった2009年を除き統一地方選挙から外れた1978年以降最も高い投票率となった。(8月)	
第2位	東京2020オリンピック・パラリンピックが開催	<3,266票>
	横浜スタジアムと横浜国際総合競技場で、野球・ソフトボール、サッカー(男子・女子)の各決勝を含む38試合が行われた。野球・ソフトボールでは、日本がそれぞれ金メダルを獲得した。(7~9月)	
第3位	IR誘致撤回、新たな劇場計画の検討中止へ	<3,107票>
	市はIR誘致を撤回するとともに、新たな劇場計画の検討を中止。それぞれ業務を担当してきたIR推進室や芸術創造本部室の機構を廃止した。(10月)	
第4位	日本初常設都市型ロープウェイ YOKOHAMA AIR CABIN 開業	<2,875票>
	桜木町駅と新港エリアの間を楽しみながら移動できアクセス利便性も向上。夜間はライトアップされたゴンドラが臨海部の夜景に花を添える。(4月)	
第5位	新型コロナウイルス感染症への対応	<2,545票>
	特に第5波では7月下旬から感染が急拡大し、市は自宅療養者や病床の逼迫への対応として、自宅療養者支援や病床確保などを実施。9月には加速化プランを発表するなど、更なる対応強化に取り組んでいる。(1~12月)	
第6位	緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が適用	<2,459票>
	1年の大半の期間、緊急事態宣言等が発令され、不要不急の外出・移動を制限されるなど我慢の期間が続いた。(1~9月)	
第7位	横浜市における2回接種率が8割を超える	<2,429票>
	個別接種や市内最大33か所の集団接種会場、大規模接種会場に加え、多様なライフスタイルに合わせた接種会場を設けるなどワクチン接種を推進し、12歳以上の市民の80%が2回接種完了。(5~11月)	
第8位	西武・松坂大輔さん現役引退	<1,638票>
	日米通算170勝をあげた松坂投手が10月19日に現役最後の登板をし、引退。横浜高校のエースとして甲子園で春夏連覇を達成し「平成の怪物」と呼ばれ、世代を代表する選手となり「松坂世代」という言葉も生まれた。(10月)	
第9位	水道料金が改定	<1,521票>
	老朽化が進む水道管や水道施設の更新、大地震に備えた耐震化を着実に進め、将来にわたり安定して水道水を供給し続けるため、水道料金の改定を実施。(7月)	
第10位	野毛山動物園が70周年	<1,499票>
	1951年に開園して以来、世代を超えて市民に親しまれ、今年開園70周年を迎えた。園内各所で園の歴史を紹介するパネル展示や公式サイトで記念動画配信等が行われている。(4月)	

第11位以下は、裏面のとおりです。

第 11 位以下 (2021 年 横浜 10 大ニュース)

順位	項目	票数
11	市立中学校で学校給食法上の給食開始 市では初めてとなる選択制の中学校給食を開始。民間施設で調理した給食をランチボックスに入れて提供。利用者数は開始以来、当初の目標を超えている。(4月)	1,478
12	市営交通が100周年 1921年、路面電車に始まり、バス、トロリーバス、地下鉄と、進化を遂げつつ市民の足として親しまれてきた。100周年記念として地下鉄ヘッドマーク掲出や、商店街連携イベント等が行われた。(4月)	1,413
13	岸田文雄氏が第100代首相に就任 菅義偉氏が任期満了により退任し、岸田氏が第100代首相に選出され、岸田内閣が発足。また、衆議院議員の任期満了日以降の衆院選は現行憲法下で初。(10月)	1,392
14	市立学校に27万台の端末納入が完了しGIGAスクールの取組が進む 国の政策を踏まえ市でも「横浜市におけるGIGAスクール構想」に基づき児童生徒に1人1台のICT端末が整備された。(3月)	1,192
15	みなとみらい21地区の歩行空間の整備が進む 女神橋の供用開始や、新港サークルウォークのリニューアル完了など、みなとみらい21新港地区周辺の歩行空間が拡充し市民や来街者の回遊性が向上。(3,4月)	1,187
16	京急の「歌う電車」が歌い終え、観光船マリンシャトルは引退 京浜急行電鉄で通称「ドレミファインバータ」として親しまれた最後の編成が運行を終了。35年間横浜港の観光船として活躍したマリンシャトルは引退。(7月)	1,060
17	横浜市内にポケモンオリジナルポスト設置 「モンスターボール」をイメージしたポストの上に、人気キャラクターのピカチュウ、イーブイ、ポッチャマのオブジェを取り付けたオリジナルポストが市内2か所に登場。新たな人気スポットに。(7月)	1,030
18	白井健三さん現役引退 横浜市出身でリオデジャネイロオリンピックの体操・団体で金メダルを獲得した白井健三さんが引退。「シライ」と名のつく新技をゆかと跳馬で計6つ生み出した。今後は日本体育大学で指導者に。(6月)	977
19	行政手続の押印・署名廃止やオンライン申請化が進む 市民・事業者の利便性の向上のため市に提出する申請書等のうち、5000件を超す手続の押印・署名廃止を決定。また、住民票の写し等の申請・転出の届出のオンライン手続を開始。(1,3,9月)	972
20	横浜市立図書館が100周年 1921年に横浜公園内で開業。記念式典では図書館の運営に携わったボランティアを表彰するとともに、スタジオジブリの鈴木敏夫氏による講演会も開催。他にも各館で関連事業を多数開催した。(6月)	951
21	神奈川大学がみなとみらいキャンパスを開校 みなとみらいエリアで初の総合大学キャンパスとなり、あらゆる「人」が集い、「知」が交流する、グローバル、ダイバーシティを象徴する拠点を目指す。(4月)	885
22	よこはま動物園が絶滅危惧種ツシマヤマネコの人工繁殖に国内初成功 野生では現在約100匹しかいない、天然記念物で絶滅危惧種のツシマヤマネコの人工授精による繁殖に国内で初めて成功。(3月)	877
23	横浜市立大学で新型コロナウイルス研究進む 感染を阻止する中和抗体の検出法を開発。感染から1年後の中和抗体保持やワクチンの変異株への有効性を確認。市大が開発した高精度の抗体を用いた抗原検査キットを企業が販売開始。(5,7月)	803
24	みなとみらい・関内エリアに企業の移転が進む ソニー株式会社やクックパッド株式会社、株式会社ディー・エヌ・エー等が移転。エリアの更なる賑わいが期待される。(3,5,8月)	761
25	ガーデンネックレス横浜2021開催 春の里山ガーデンフェスタは過去最高の17万人を超える方が来場。市役所アトリウムで開催した「ローズフェア」のほか、動画配信などお家で楽しめる企画も好評。(3~6月)	580
26	第100回全国高校ラグビー大会で桐蔭学園(青葉区)が2大会連続3回目の優勝 神奈川県代表の桐蔭学園が京都成章高校を32対15で破り、2連覇を果たした。連覇は史上9校目。(1月)	545
27	フィギュアスケート世界選手権で鍵山選手が銀メダルを獲得 横浜市出身で横浜銀行アイスアリーナを拠点にしている鍵山選手が、初出場となった世界選手権で銀メダルに輝いた。(3月)	532
28	2020年コンテナ港湾生産性指数(CPPI)で横浜港が世界一獲得 世界銀行が行った調査において、コンテナ港湾のパフォーマンスを測る指標(CPPI)が世界一に。今後もさらなる国際競争力強化を目指す。(5月)	501
29	市内3か所にマイナンバーカード特設センターをオープン 市民の利便性を高め、カード交付の促進を図るため、平日夜間・土日祝日も事前予約でマイナンバーカードを受け取れる特設センターを開設。(5,6月)	441
30	2021ワールドトライアスロン・パラトライアスロンシリーズ横浜大会が無観客で開催 オリンピック・パラリンピック出場を目指す世界のトップ選手が集結し、山下公園や赤レンガ倉庫など、横浜の名所を走り抜けた。(5月)	402
31	全国初、公道にEV用充電器を設置 脱炭素化に向けた電気自動車等(EV・PHV)普及の取組として、EV用充電器を国内で初めて公道に設置する実証実験が市内で開始された。(6月)	389
32	パシフィコ横浜開業30周年 みなとみらい21事業のリーディングプロジェクトとして開業し、「グローバルMICE都市・横浜」の中核的施設となっているパシフィコ横浜が開業30周年を迎えた。昨年「パシフィコ横浜ノース」も開業。(7月)	387
33	コロナ禍で各種イベントもオンラインで開催 海洋都市横浜バーチャルうみ博2021、横浜マラソン等も昨年に引き続きオンラインでの開催となった。(7~9月,10~11月)	358
34	福浦・幸浦地区の防潮堤が完成 2019年9月の台風15号で高波被害を受けた金沢区の福浦・幸浦地区で防潮堤が完成。昨年護岸と消波ブロックが完成しており、今回の防潮堤を含めた3重の対策で浸水を防ぐ。(8月)	282
35	日本最大級のダンスフェスティバル「Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021」開催 国内外のトップアーティストによる公演から市民参加ステージまでオールジャンルのダンスが集結。(8~10月)	251
36	トップスポーツチームの2チームが横浜で活動を開始 B3リーグ所属のプロバスケットボールクラブの横浜エクセレンスと、ジャパンラグビーリーグワン所属の横浜キヤノンイーグルスが、それぞれ横浜での活動を開始。(7月)	199
37	横浜特別自治市大綱8年ぶりに改訂 特別自治市の実現に向け、大綱策定(平成25年3月)以降の大都市制度改革に関する国や市等の動向を踏まえ大綱を改訂し、立法化の提案や具体的プロセスを明確にした。(3月)	195
38	名古屋場所で荒鷲山関が新十両昇進 横浜市出身の力士が関取となるのは22年ぶり。フィリピンで生まれ育ち15歳で荒汐部屋に入門。12年間を経て新十両に昇進した。(7月)	118

- 1 投票対象：横浜市在住の方
- 2 投票者数：6,090人(詳細は「年代別の投票者数/構成比」をご覧ください。令和2年は7,546人)
- 3 投票期間：令和3年11月19日(金)～12月10日(金)
- 4 投票方法：インターネット及びはがき
2021年の1年間、横浜市内で起こった出来事や市政ニュースなど38項目の候補ニュースを提示し、お一人最大10項目を選んでいただきました。なお、候補ニュースにないものは自由記入をお願いしました。
- 5 その他：抽選で合計600名様に横浜ゆかりの賞品をプレゼントします。

■ 年代別の投票者数/構成比

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	合計
人数(人)	188	473	945	1,368	1,508	932	672	4	6,090
(構成比)	3.1%	7.8%	15.5%	22.5%	24.8%	15.3%	11%	0.1%	

■ 年代別トップ3

順位	20歳未満	20歳代
1	東京2020オリンピック・パラリンピックが開催<95票>	横浜市長選で山中竹春氏が第33代横浜市長に就任<291票>
2	横浜市長選で山中竹春氏が第33代横浜市長に就任<83票>	日本初常設都市型ロープウェイ YOKOHAMA AIR CABIN 開業<238票>
3	横浜市内にポケモンオリジナルポスト設置<74票>	東京2020オリンピック・パラリンピックが開催<233票>

順位	30歳代	40歳代
1	横浜市長選で山中竹春氏が第33代横浜市長に就任<592票>	横浜市長選で山中竹春氏が第33代横浜市長に就任<847票>
2	東京2020オリンピック・パラリンピックが開催<460票>	東京2020オリンピック・パラリンピックが開催<668票>
3	日本初常設都市型ロープウェイ YOKOHAMA AIR CABIN 開業<454票>	日本初常設都市型ロープウェイ YOKOHAMA AIR CABIN 開業<655票>

順位	50歳代	60歳代
1	横浜市長選で山中竹春氏が第33代横浜市長に就任<945票>	横浜市長選で山中竹春氏が第33代横浜市長に就任<681票>
2	東京2020オリンピック・パラリンピックが開催<856票>	IR誘致撤回、新たな劇場計画の検討中止へ<582票>
3	IR誘致撤回、新たな劇場計画の検討中止へ<780票>	東京2020オリンピック・パラリンピックが開催<544票>

順位	70歳以上
1	横浜市長選で山中竹春氏が第33代横浜市長に就任<521票>
2	IR誘致撤回、新たな劇場計画の検討中止へ<435票>
3	新型コロナウイルス感染症への対応<429票>

【参考】令和2年の結果（上位10位まで）

順位	項目	順位	項目
1	新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐ「新しい生活様式」が広まる（3,884票）	6	横浜北西線が開通（2,187票）
2	横浜市役所の新庁舎が完成（3,527票）	7	横浜駅西口に新たなシンボルが誕生（2,145票）
3	菅義偉氏が第99代首相就任（3,246票）	8	新型コロナウイルス感染症対策に総力をあげて取り組む（2,135票）
4	実物大の動くガンダムが山下ふ頭で公開（2,444票）	9	横浜スタジアム増改築工事が竣工（2,067票）
5	東京2020オリンピック・パラリンピックの開催延期（2,342票）	10	粗大ごみ申込み受付がもっと便利に（1,925票）

【参考】平成元年から令和2年までの横浜10大ニュース「第1位」

年	項目
令和2年	新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐ「新しい生活様式」が広まる
令和元年	横浜でラグビーワールドカップ2019™開催
平成30年	成人式の晴れ着トラブルで市民や団体等から支援の申出多数、横浜市は特設ホームページや相談窓口を設置
平成29年	横浜 DeNA ベイスターズ、19年ぶりの日本シリーズ進出
平成28年	横浜 DeNA ベイスターズがCSファイナルステージ初進出、観客動員数が約194万人で球団史上最高を更新
平成27年	市内のマンションや中学校等で建物のくい打ちデータの流用等が確認される
平成26年	首都圏で記録的大雪、横浜の積雪28センチは観測開始以来7番目の多さ
平成25年	みなとみらい線、東横線と副都心線が直通運転を開始、横浜市中心部と埼玉県西部が繋がる
平成24年	横浜ベイスターズが新生チームとして始動
平成23年	東日本大震災発生 市内でも震度5強観測
平成22年	APEC首脳会議、横浜で開催
平成21年	中田横浜市長（当時）退職
平成20年	横浜市営地下鉄の新路線グリーンラインが開業
平成19年	県内最大級の商業施設「ららぽーと横浜」がオープン
平成18年	横浜市長選挙で中田市長再選
平成17年	G30ごみ分別拡大全市実施 工場の改修費1,100億円節減へ
平成16年	みなとみらい線開業
平成15年	統一地方選挙実施・23人の新人の市議員が誕生・松沢新知事誕生
平成14年	2002年ワールドカップサッカー大会決勝戦 横浜で開催
平成13年	米国同時多発テロ発生（ニューヨークの世界貿易センタービルなどで同時多発テロが発生）
平成12年	青葉区在住の筑波大学名誉教授白川英樹氏がノーベル化学賞を受賞
平成11年	横浜市大病院患者取り違え手術（肺の手術患者と心臓の手術患者を取り違えて手術）
平成10年	横浜ベイスターズ38年ぶり日本一セ・リーグ制覇に続き、日本シリーズでも優勝 優勝効果で市内経済も活性化
平成9年	7万人を収容する国内最大級のスタジアム「横浜国際総合競技場」が港北区に完成
平成8年	少雨のため異常湧水対策本部を設置 2月、3月及び7月に給水制限を実施した
平成7年	阪神・淡路大震災発生 横浜市では被災地に物的・人的援助を行うとともに、市内の防災対策について、避難場所の見直し等の様々な施策を展開した
平成6年	輸入米の本格的な販売が始まる。国産米指向の一部消費者の買いためなどから、米不足に市内スーパーでも米を求める行列ができた
平成5年	高さ296メートルの日本一の超高層ビル「ランドマークタワー」がオープン 展望フロアに長蛇の列
平成4年	大和市で警官殺傷の容疑者が緑区長津田付近に逃走 幼稚園・小中学校が休校に
平成3年	東京湾を囲む地域で、コレラの感染者が発生。アオヤギが疑われたが、感染経路不明
平成2年	細郷市長が死去、市葬が3月7日に横浜アリーナで行われた
平成元年	市政100周年・開港130周年を記念し横浜博覧会が開催される 191日間1,335万人

※ 「横浜10大ニュース」は昭和56年にスタートし、今回で41回目となります。

お問合せ先
市民局広聴相談課長 櫻井 智 Tel 045-671-2301